



東京医学会第269回特別学術講演会
(第2798回集会)

器官病態内科学 講座
消化器内科学 担当

小池 和彦 君

講演日 : 令和3年3月16日(火)

時間 : 15時00分~17時00分

場所 : 鉄門記念講堂からのWeb配信

URL: <https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/91896412807>

講演

国民病である肝炎・肝臓の病態解明と克服

このたび東京大学大学院医学系研究科教授 小池和彦先生は、令和3年3月末日をもちまして退任されることとなりました。

先生は昭和55年に東京大学医学部医学科を卒業され、東京大学医学部第一内科に入局されました。昭和59年に国立予防衛生研究所、昭和61年からは米国立癌研究所分子ウイルス部、米国赤十字ホランド研究所ウイルス部に3年間留学されました。平成3年に第一内科助手、平成9年に講師、平成10年に生体防御感染症学助教授、そして平成16年に感染制御学・生体防御感染症学教授に就任され、平成21年より消化器内科学教授に就任なさいました。ウイルス肝炎、代謝・脂肪性肝疾患、肝発癌機序の解明と治療開発などの分野で数々の先駆的業績を挙げられ、平成11年に日本肝臓学会賞（織田賞）、平成12年にはベルツ賞、平成30年日本消化器病学会学術賞、令和2年日本医師会医学賞を受賞なさいました。輝かしい学術的業績のみならず、大所帯である消化器内科学教室を主宰され、その臨床、教育、研究の発展に大きく貢献されております。学外においても平成22年から日本肝臓学会理事長、平成25年から日本内科学会理事長、そして平成31年から現在まで日本消化器病学会理事長の要職を歴任なさっております。

つきましては、最終講義として、その長年にわたる医学発展へのご尽力、ご造詣の一端を拝聴する機会をオンラインの形で設けさせていただきました。皆様のご参加を賜りますようご案内申し上げます。

令和3年3月

一般財団法人東京医学会